

訂 正

人間生活文化研究, 32 (2022), p.613-620

論文種別：短報

論題：栄養士養成課程 2 年生の栄養士に対する意識について—進路・コンピテンシーとの関連—

Attitudes toward Dietitians among Second-Year Dietician Training Program Students

—Relationships with Career Paths and Competencies—

著者：鎌田 久子, 田口 裕基, 富永 暁子, 堀口 美恵子

Hisako Kamata, Yuuki Taguchi, Akiko Tominaga, and Mieko Horiguchi

本文 (p.614–p.615) および表 2 (p.616) に誤りがありました。以下のとおり訂正します。

p.614

【誤】

2.1 調査対象と手続き

東京都内の栄養士養成施設 (2 年制) で学ぶ学生を対象に, 2021 年 11 月中旬 (1 年生) および 12 月中旬から 1 月上旬まで (2 年生) の期間に Web による PROG テストおよびアンケート調査を実施した。オプトアウトで行うため, PROG テスト結果とアンケート結果を研究に用いることへ承諾を問う項目を設け, 承諾した学生のデータのみを本研究に用いた。調査参加者は女性 139 名で, 回収数は 139 であった。このうち, 承諾が得られた有効回答数は 134 (有効回答率 96.4%) で, 2 年生 65 名, 1 年生 69 名であった。

本研究の分析対象者は, 2 年生 65 名であるが, 栄養士に対する意識の因子分析においては, サンプル数 100 以上であることが望ましく, かつ, 栄養士養成課程の学生に対する尺度として検討したため, 分析対象を 1・2 年生合計の 134 名とした。

【正】

2.1 調査対象と手続き

東京都内の栄養士養成施設 (2 年制) で学ぶ学生を対象に, 2021 年 11 月中旬 (1 年生) および 12 月中旬から 1 月上旬まで (2 年生) の期間に Web による PROG テストおよびアンケート調査を実施した。オプトアウトで行うため, PROG テスト結果とアンケート結果を研究に用いることへ承諾を問う項目を設け, 承諾した学生のデータのみを本研究に用いた。調査参加者は女性 139 名で, 回収数は 139 であった。このうち, 承諾が得られた有効回答数は 133 (有効回答率 95.7%) で, 2 年生 65 名, 1 年生 68 名であった。

本研究の分析対象者は, 2 年生 65 名であるが, 栄養士に対する意識の因子分析においては, サンプル数 100 以上であることが望ましく, かつ, 栄養士養成課程の学生に対する尺度として検討したため, 分析対象を 1・2 年生合計の 133 名とした。

p.615

【誤】

3. 結果

3.1 栄養士に対する意識

栄養士養成課程 2 年生 65 名の栄養士に対する意識 4 項目の回答について、各選択肢の人数と割合を表 1 に示す。「食を通じて人々の健康と幸福に貢献したい」と思っていたのは 92.3%で、「栄養士として専門的な知識と技術を向上させたい」と思っていたのは 81.5%であった。一方、「栄養士という職業に就くことを誇りに思う」と思っていたのは 63.1%で、「栄養士という職業に向いている」と思っていたのは 36.9%であった。

栄養士に対する意識 4 項目を用いた探索的因子分析（最尤法・プロマックス回転）は、1・2 年生全体 134 名を対象に分析を行った。その結果、1 因子 4 項目が抽出され、負荷量は 0.52 以上であった（表 2）。この尺度を栄養士基本コンピテンシーと命名した。

表 2 (p.616)

【誤】

表 2. 栄養士基本コンピテンシーの因子分析結果（最尤法・プロマックス回転）

項目	F1
食を通じて人々の健康と幸福に貢献したいと思う	0.52
自分は栄養士という職業に向いていると思う	0.56
栄養士という職業に就くことを誇りに思う	0.70
栄養士として専門的な知識と技術を向上させたいと思う	0.68

n=134

【正】

3. 結果

3.1 栄養士に対する意識

栄養士養成課程 2 年生 65 名の栄養士に対する意識 4 項目の回答について、各選択肢の人数と割合を表 1 に示す。「食を通じて人々の健康と幸福に貢献したい」と思っていたのは 92.3%で、「栄養士として専門的な知識と技術を向上させたい」と思っていたのは 81.5%であった。一方、「栄養士という職業に就くことを誇りに思う」と思っていたのは 63.1%で、「栄養士という職業に向いている」と思っていたのは 36.9%であった。

栄養士に対する意識 4 項目を用いた探索的因子分析（最尤法・プロマックス回転）は、1・2 年生全体 133 名を対象に分析を行った。その結果、1 因子 4 項目が抽出され、負荷量は 0.52 以上であった（表 2）。この尺度を栄養士基本コンピテンシーと命名した。

【正】

表 2. 栄養士基本コンピテンシーの因子分析結果（最尤法・プロマックス回転）

項目	F1
食を通じて人々の健康と幸福に貢献したいと思う	0.52
自分は栄養士という職業に向いていると思う	0.56
栄養士という職業に就くことを誇りに思う	0.70
栄養士として専門的な知識と技術を向上させたいと思う	0.68

n=133